

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	25	国民健康保険	事業コード	36915	
事業名	付加健診費						
評価担当課	所属名	保)保険医療部 保険企画課					
	課長名	山本 慶一	担当者名	富田 菜々美	電話番号	011-211-2887	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外			
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費						
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理						
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他					
	目的	短期	受診者に健診への理解を深めながら勧奨を行い、健診の受診率向上を図るとともに付加健診の希望率の向上を図る。				
		長期	健診の普及と保健指導を推進することにより、健康の保持・増進と医療費の適正化を図ることを目的としている。				
	取組内容	従来より実施してきたすこやか健診は平成20年度から特定健診へ移行したが、すこやか健診と比べ検査できる項目が減少したことによって特定健診自体の魅力が低下し受診率の低迷が続いている。「受診率の向上」と「被保険者の健康保持増進」を目的に特定健診の健診項目を補う付加健診事業を実施する。特定健診受診者のうち、追加の検査項目を受けたいと希望する者に費用の一部を助成する。 付加健診項目：白血球数、貧血検査、心電図検査 自己負担額：500円(一律)					
	実施結果	特定健診受診者の8割以上が付加健診を受診している。					
事業実施における工夫点	年度開始前の受診券発送、文書による受診勧奨、ポスター等を活用した広報、住民集団健診の夜間・土日実施等を行うことで、受診機会の確保と健診への理解を深めながら勧奨を行っている。						
対象者	40歳～74歳の札幌市国保加入者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	全政令指定都市で各市独自の追加健診を実施しており、札幌市を除く他の政令指定都市は、いずれも自己負担額を徴収せず全員に実施している。						

◎事業費

(単位：千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	48,918	69,954	49,729	66,218
うち特定財源	48,918	69,954	49,729	66,218
人工	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	48,918	69,954	49,729	66,218
事業費の内訳	令和3年度決算	付加健診委託料：49,729千円		
	令和4年度予算	付加健診委託料：66,218千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	付加健診希望率		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		83.10%	87.20%	82.6%(速報値)	87.20%
活動指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	特定健診受診者のうち、およそ8割の者が付加健診を受診している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	健診項目が増えることにより、健診や健康づくりに関する関心が高まり、健康の保持増進に寄与する。全政令指定都市が独自の検査項目を特定健診に追加している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	特定健診を委託している札幌市医師会及び北海道結核予防会に、併せて付加健診を委託することで特定健診と同時に受診できる機会を確保している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	希望者が追加の検査を受診できることで、特定健診受診者の利便性が向上した。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	特定健診受診者のうち、およそ8割の者が付加健診を同時に受診しており、一定のニーズに応えているといえるが、特定健診そのものの受診率は低迷している。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	特定健診受診者のおよそ8割の者が付加健診を同時に受診しており、一定のニーズに応えているといえるため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 次年度も同規模程度を見込んでいる。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 特定健診受診者のおよそ8割の者が付加健診を受診しており、一定のニーズが認められるため、引き続き同内容で実施していく予定。			見直し効果額